

# 令和7年度 活動報告書



国立大学法人  
北海道国立大学機構

帯広畜産大学  
産学連携センター

# ■ 目次

・ 活動報告書発行にあたって	1
・ 組織体制	2
・ 第4期中期計画と令和7年度実施結果	3
・ 活動実績	5
・ 活動実績詳細一覧	6
・ 産学連携センター内会議議題等一覧	8
・ 受託研究・共同研究受入実績の推移	12
・ 企業等集積プラットフォームニュースレター (Vol. 17~Vol. 22)	

## ■令和7年度 活動報告書発行にあたって

アメリカによるイラン攻撃に伴う中東情勢の緊迫化や、ウクライナにおけるロシアによる侵攻の長期化など、国際情勢の不安定化が続き、世界経済に大きな影響を及ぼしました。こうした動きは、十勝の基幹産業である農畜産業にも波及しており、加えて国内では高齢化の進行に伴う人手不足が深刻化するなど、地域産業を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。

このような状況の中、産学連携センターでは、地域に貢献する組織であることを基本に据え、企業等集積プラットフォーム参画企業をはじめ、十勝管内の自治体、農業協同組合その他関係機関の皆様と丁寧な対話を重ねてまいりました。把握した地域ニーズを踏まえ、令和7年度は「十勝における農産物の高付加価値化」をテーマとした産学官金交流会を開催するなど、課題の深掘りと共有、新たな連携の醸成に取り組んでまいりました。

また、酪農産業の持続的発展に向けて設立した「ミルク&チーズコンソーシアム」では、チーズ製造学短期研修会をはじめとする教育プログラムの実施や、新たな乳製品開発に向けた活動を展開してまいりました。「地域統合・データ駆動型未利用資源活用コンソーシアム（以下、未利用資源活用コンソーシアム）」等の取組も着実に進展しており、企業等集積プラットフォームへの参画機関数は100機関を超える規模へと拡大しております。

さらに、これらの取組を基盤として、帯広市との連携を一層深化させ、内閣府の地方大学・地域産業創生交付金に採択されました。「十勝型フードシステムの形成」をテーマに、環境に配慮した持続可能な農業の推進と農産物の高付加価値化を通じた地域産業の活性化に向けた新たな取組を開始しております。加えて、本取組の一環として、令和8年度には食品加工に関する実践的な教育研究機能の強化を図るため、新たにチーズ工房を整備する予定です。既存の乳製品工場や酒蔵とあわせ、これらを一体的に運営する「食品加工イノベーションセンター」を核として、産学官金の共創を実践する拠点形成を進めてまいります。

また、北見工業大学及び小樽商科大学との経営統合から4年が経過し、農商工連携による分野融合型研究も着実に進展しております。センサー技術と牧草研究を融合した「牧草刈取りトラックガイダンスシステム」の開発をはじめ、現在14件の研究が進められております。

地域や企業の皆様が抱える課題は容易に解決できるものではありませんが、北海道国立大学機構をはじめとする関係機関の皆様と連携しながら、今後も地域に根差した産学連携の強化に取り組んでまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年5月

国立大学法人北海道国立大学機構

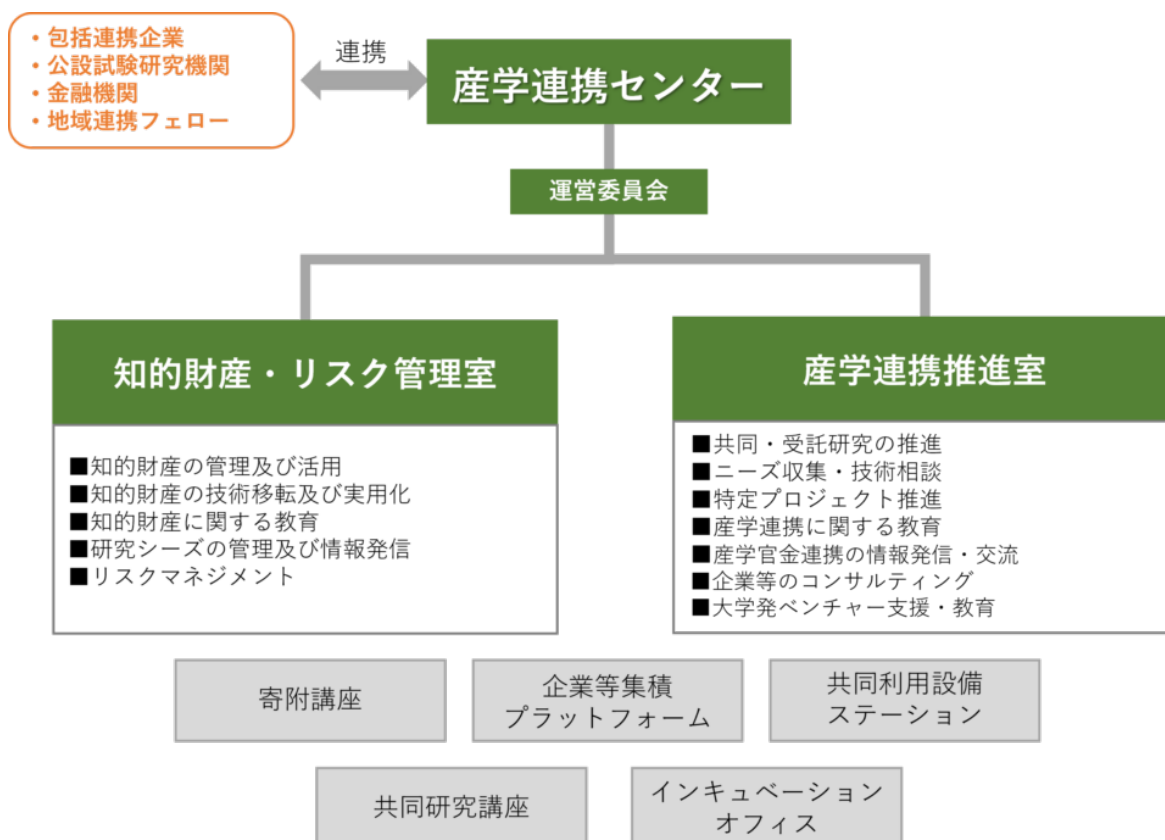
帯広畜産大学 産学連携センター長 岡田 繁

# 令和7年度 組織体制

## 1. スタッフ

センター長	岡田 繁（特任教授・産学連携センター）
副センター長	東 陽介（准教授・産学連携センター）
産学連携推進室長	河野 洋一（准教授・環境農学研究部門）
産学連携担当教員	大庭 潔（特任教授・産学連携センター）
産学連携担当教員	高谷 政宏（特任助教・産学連携センター）
知的財産・リスク管理室長	宮竹 史仁（教授・環境農学研究部門）
共同利用設備ステーション長	得字 圭彦（教授・人間科学研究部門）
マネージャー（知財担当）	嘉屋 元博
研究支援課主任（コーディネーター）	高橋 悠

## 2. 体制図



## ■第4期中期計画と令和7年度実施状況

### 第4期中期計画（令和4年度から令和9年度まで）

#### 計画番号 26

令和3年度までに構築したインキュベーションオフィス入居企業との連携体制、企業等集積プラットフォームをもとに、地域の主要産業の活性化や課題解決に寄与するとともに、新たな外部資金獲得を目的とした2件以上の研究コンソーシアム及び共創ファンドを設立する。

また、オープンイノベーションセンターとの連携により、社会実装につながる小樽商科大学及び北見工業大学との研究開発を促進し、本学主導による地域課題解決を志向した分野融合型共同・受託研究を8件以上実施する。

#### 令和7年度実施計画

- ★企業等集積プラットフォーム入会への呼び水とするため、交流会等を実施する。また、令和6年度に設置した次世代農畜産技術実証センターと連携しながら、令和6年度までに形成したコンソーシアム（2件）において、さらなる競争的研究費の獲得に向けた研究を推進するとともに、新たなコンソーシアム形成に向けた調査検討を実施する。
- ★オープンイノベーションセンターや機構各大学と連携し、分野融合型の新たな共同研究を企画・実施（3件）する。
- ★令和6年度に設立した「地域共創ファンド」において、より効果的な資金調達を実現するための運用方法を確立するとともに、産学連携の促進に向けた取り組みや研究課題の支援を行う。

#### 令和7年度実施結果

- 企業等集積プラットフォーム入会への呼び水および産学連携活動の活性化に向け、未利用資源活用や農産物の高付加価値化をテーマとした交流会を4月、9月及び12月に実施した。また、次世代農畜産技術実証センターと連携し、令和6年度までに形成したミルク&チーズコンソーシアム及び未利用資源コンソーシアムにおいて、それぞれ競争的研究費を獲得した。さらに、プラットフォームの参画機関との調査検討を進めた結果、新たに「馬鈴薯コンソーシアム」及び「有機農畜産コンソーシアム」を設置した。
- オープンイノベーションセンターや機構各大学と連携し、分野融合型の新たな共同研究（4件）を企画・実施した。
- 北海道の産業振興や人材育成を目的とした「地域共創ファンド」の公募を開始した。なお、ファンドには道内金融機関から寄付があり、今年から新たな金融機関より20万円を獲得した。

## 計画番号 29

大学の更なる研究環境の充実のため、研究設備・機器共用の経営戦略への位置づけの明確化、中長期的かつ戦略的な整備、運用等を目的とした「戦略的設備・機器運用計画（共用設備・機器マスタープラン）」を令和5年度までに策定し、全学的な設備共用体制を再構築するとともに、産業界や外部研究機関との研究設備・機器の相互利用や技術協力等の連携を推進する。

### 令和7年度実施計画

- ★令和6年度に構築された「教育研究設備マネジメント委員会」を中心に、全学の設備・機器の運用体制を確立する。これを基盤として、「研究設備・機器マスタープラン（2024 暫定版）」に基づく全学的な機器の共用化を推進する。さらに、経営戦略と連携した研究基盤の整備・運用状況や外部機関との協力、研究力強化の効果を客観的に検証するため、外部有識者による評価を実施する。
- ★北海道国立大学機構内における設備・機器の相互利用を促進するとともに、公設試験機関や企業などとの技術協力を強化するため、施設見学会や共同セミナーの開催、技術職員の育成などを協力して実施する。
- ★共同利用設備ステーションの運営状況についての内部評価を行うとともに、外部評価を受審する。

### 令和7年度実施結果

- 「研究設備・機器マスタープラン（2024 暫定版）」に基づき、教員管理の研究機器7件を新たに共通機器として登録し、共用化を拡充した。また、機器説明会を16回開催するとともに、利用者目線での料金体系の見直しを行い、機器利用促進を図った。[以降、③と共通] また、経営戦略と連携した研究基盤の整備・運用状況や外部機関との協力、研究力強化の効果等について、内部評価を実施し、評価結果は「自己点検・評価報告書」として取りまとめ、その報告書を基に外部有識者による評価を受審した。
- 北海道国立大学機構内における設備・機器の相互利用促進に向けた施策として、本学協力による共同セミナーを実施した。また、企業等による利用拡大を図ることを目的として、9月の産学官金連携交流会において、共通機器室施設見学会を実施した。さらに、技術職員育成の一環として、国立大学機器・分析センター協議会シンポジウムにおいて、同職員によるポスター発表を行った。加えて、令和6年度に連携協定を締結したとかち財団との協力を一層強化するため、機器の相互利用に関する覚書を締結した。

## 令和7年度 活動実績

### ● 産学連携イベント開催等、受託研究・共同研究

- ・ 第10回産学官金連携交流会 mini 開催（4月15日）
- ・ 産学官金連携交流会開催（9月29日）
- ・ 地域連携フェロー連絡会議（10月21日、1月29日）
- ・ スクラム十勝シンポジウム（10月29日共催機関として開催）
- ・ 第11回産学官金連携交流会 mini 開催（12月5日）
- ・ 第3回畜大シンポジウム開催（1月20日）
- ・ 企業等集積プラットフォームニュースレター発行6回
- ・ 受託研究、共同研究受入総件数 150件
- ・ 受託研究、共同研究受入合計額 235,000千円

### ● 出展・技術移転、知的財産権

- ・ JST 大学見本市 2025 イノベーション・ジャパン 出展（8月21, 22日）
- ・ JST 北海道理工系大学・公設試新技術説明会（9月25日）
- ・ ビジネス EXPO 第39回北海道技術・ビジネス交流会（11月6, 7日）
- ・ 発明等届 7件
- ・ 特許出願 3件
- ・ 商標出願 2件
- ・ 特許登録 3件

### ● 共同利用設備ステーション

- ・ 登録機器  
共通機器室管理：75台、教員管理：35台（学内）  
共通機器室管理への新規導入：4台  
教員管理の新規導入：6台
- ・ 利用申請者 257名
- ・ 機器説明会 16回開催
- ・ 学外の企業や研究機関による機器の利用回数：16回
- ・ 北海道国立大学機構主催の第4回共用機器利用促進セミナーを幹事校として開催。
- ・ 北見工業大学共用設備センターの施設 Web 見学を実施。
- ・ 北見工業大学共用設備センターと共通機器の相互利用を継続。

# 令和7年度 活動実績詳細一覧

活動実績	開催日・場所
[セミナー参加] セミナー「北海道十勝におけるアグリテック・フードテックの拠点化に向けて」	令和7年4月10日 PiO PARK
[セミナー開催] 帯広畜産大学 産学官金連携交流会 mini (第10回)	令和7年4月15日 帯広畜産大学 (現地&オンライン開催)
[公募型共同研究の実施] ・帯広市との連携事業「学生と地域がつながるまちづくり支援事業」 ・令和7年度 ACE (オープンイノベーションセンター) 促進共同研究	令和7年5月 ~令和8年3月
[施設見学] 北見工業大学共用設備センター	令和7年5月13日 (オンライン開催)
[展示会参加] ヘルスフード EXPO	令和7年5月22, 23日 東京ビッグサイト
[セミナー参加] 令和7年度 ABS オンライン講習会 (第2, 3, 4, 5, 6回)	令和7年7月4日、8月28日、 令和8年1月28日、2月12日、3月10日
[会議出席] 研究成果有体物管理コンソーシアム全体会議	令和7年7月10日 鹿児島大学
[展示会出展] 北洋銀行ものづくりサステナフェア 2025	令和7年7月22日 アクセスサッポロ
[展示会出展] 環境広場さっぽろ 2025	令和7年7月26, 27日 大和ハウスプレミストドーム
[イベント開催] 令和7年度北海道国立大学機構シンポジウム	令和7年7月31日 京王プラザホテル
[イベント参加] イノベーションフォーラム (岩手大学主催)	令和7年8月6日 ホテルメトロポリタン盛岡
[展示会出展] JST 大学見本市 2025 イノベーション・ジャパン	令和7年8月21, 22日 東京ビッグサイト
[セミナー参加] とかち財団食科技 PresentationDay	令和7年9月11日 とかち財団
[イベント開催] JST 北海道理工系大学・公設試新技術説明会	令和7年9月25日 オンライン開催
[セミナー開催] 令和7年度 帯広畜産大学 産学官金連携交流会	令和7年9月29日 帯広畜産大学 (現地&オンライン開催)
[セミナー参加] 令和7年度国立大学法人機器・分析センター協議会・シンポジウム	令和7年10月10日 出島メッセ長崎
[イベント参加] ビジネスイベント「KAIKON-開墾-」	令和7年10月15, 16日 北海道ホテル
[会議開催] 帯広畜産大学地域連携フェロー連絡会議	令和7年10月21日 令和8年1月29日 帯広畜産大学
[会議出席] 令和7年度北海道地域大学等知的財産部門連絡会議	令和7年10月22日 札幌市立大学サテライト
[イベント開催] ACE (オープンイノベーションセンター) 研究者交流会	令和7年10月24日 北見工業大学

[セミナー開催] スクラム+勝シンポジウム 2025～農業の省力化とスマート技術～	令和7年10月29日 十勝プラザ (現地&オンライン開催)
[展示会出展] ビジネス EXPO 第39回北海道技術・ビジネス交流会	令和7年11月6,7日 アクセスサッポロ
[会議出席] 帯広畜産大学・道総研連携協議会	令和7年11月20日 道総研本部
[展示会参加] アグリビジネス創出フェア	令和7年11月27,28日 東京ビッグサイト
[セミナー参加] 北見工業大学 CAFFE 学術講演会	令和7年11月29日 北見工業大学
[イベント開催] ACE シーズ・ニーズマッチング交流会	令和7年12月2日 エア・ウォーターの森
[セミナー開催] 第4回共用設備利用促進セミナー	令和7年12月3日 帯広畜産大学
[展示会参加] 食の資源循環フェア	令和7年12月3日 幕張メッセ
[セミナー開催] 帯広畜産大学 産学官金連携交流会 mini (第11回)	令和7年12月5日 帯広畜産大学 (現地&オンライン開催)
[セミナー参加] 令和7年度輸出管理 DAY for ACADEMIA	令和7年12月5日 東京理科大学
[展示会参加] サーキュラーパートナーシップ EXPO	令和7年12月12日 東京ビッグサイト
[セミナー開催] 帯広畜産大学 研究インテグリティ研修	令和7年12月16日 帯広畜産大学
[セミナー開催] 第3回畜大シンポジウム	令和8年1月20日 帯広畜産大学 (現地&オンライン開催)
[セミナー開催] 令和7年度北海道地区大学等安全保障貿易管理ネットワーク勉強会	令和8年1月21日 オンライン
[セミナー参加] 令和7年度北海道コーディネーター・NW フォーラム	令和8年1月27日 オンライン
[セミナー参加] 令和7年度 IoP プロジェクト国際シンポジウム	令和8年2月7日 高知大学
[セミナー開催] 令和7年度オープンイノベーションワークショップ	令和8年2月24日 たきのうえホテル溪谷
[会議出席] 安全保障輸出管理全国地域ネットワーク運営情報共有会議	令和8年2月27日 AP 品川
[会議出席] オープンイノベーションセンター全体会議	令和8年2月27日 エア・ウォーターの森
[セミナー開催] 令和7年度北海道国立大学機構 ACE・IIC 合同 知的財産セミナー	令和8年3月10日 帯広畜産大学

# ■ 産学連携センター一会議議題等一覧

## 1 産学連携センター運営委員会

第1回（持ち回り） 令和7年12月10日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度客員教授等の推薦について</li> </ul>
第2回 令和8年1月22日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産学連携センター長及び副センター長候補者の推薦について</li> </ul> <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度計画の進捗について</li> <li>地方大学・地域産業創生交付金（帯広市）について</li> <li>大学発ベンチャー認定（称号付与期間更新）について</li> <li>とちかち財団との研究機器の相互利用に関する覚書について</li> </ul>
第3回（持ち回り） 令和8年3月25日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>帯広畜産大学地域連携フェローの称号付与について</li> </ul>

## 2 産学連携推進室会議

第1回 令和7年5月14日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の産学官金連携交流会の企画案について</li> </ul> <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産学連携に関するKPIについて</li> <li>受託・共同研究受入状況について</li> <li>研究開発コンソーシアムの継続について（未利用資源）</li> <li>研究開発コンソーシアムの継続について（ミルク&amp;チーズ）</li> </ul>
第2回 令和7年7月28日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の産学官金連携交流会の企画案について</li> <li>研究開発コンソーシアム設置について</li> </ul> <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受託・共同研究受入状況について</li> </ul>

## 3 知的財産・リスク管理室会議

第1回 令和7年4月7日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>審査請求について（2-7）</li> <li>審査請求について（2-8）</li> <li>指定国移行及び審査請求について（4-4）</li> <li>特許権の維持について（27-11）</li> <li>今年度の出展について</li> </ul>
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 道総研と十勝農協連、本学との共同研究成果の取り扱いについて</li> </ul>
<p>第2回 令和7年5月9日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 特許権の維持について (22-8)</li> <li>▪ 今年度の出展について</li> </ul> <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 知的財産管理費収支について</li> </ul>
<p>第3回 令和7年6月16日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 特許権の維持について (26-7)</li> <li>▪ 拒絶査定不服審判について (2-9)</li> <li>▪ 指定国移行、審査請求について (4-8)</li> </ul> <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 審査ガイドについて</li> </ul>
<p>第4回 令和7年7月28日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 発明届について (2025-1)</li> <li>▪ 審査請求について (3-7)</li> </ul> <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 特許登録について (2-4-1)</li> </ul>
<p>第5回 令和7年10月9日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 発明届について (2025-2)</li> <li>▪ 審査請求について (4-3)</li> <li>▪ 判断基準フローシート文言について</li> </ul>
<p>第6回 (持ち回り) 令和7年11月7日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 発明届について (2025-3)</li> <li>▪ 指定国移行について (5-3)</li> <li>▪ 特許権の維持について (21-3, 4)</li> <li>▪ 特許権の維持について (29-16)</li> <li>▪ 特許権の維持について (2-6)</li> </ul>
<p>第7回 令和7年12月10日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 発明届について (2025-4)</li> <li>▪ PCT 出願について (6-1)</li> <li>▪ 特許権の維持について (20-1)</li> <li>▪ 特許権、商標権の維持について (27-3)</li> <li>▪ 判断基準フローシート文言等の修正について</li> </ul>
<p>第8回 令和8年1月15日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 発明届について (2025-5)</li> <li>▪ 発明届について (2025-6)</li> <li>▪ 特許権の維持について (19-1)</li> <li>▪ 帯広畜産大学発ベンチャー認定 (称号付与期間更新) について</li> <li>▪ 令和8年度知的財産管理費予算について</li> </ul>

<p>第9回 令和8年2月17日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 発明届について (P2025-1)</li> <li>▪ 発明届について (2025-5)</li> <li>▪ 審査請求について (4-7)</li> <li>▪ 審査請求について (4-5, 5-10)</li> <li>▪ 審査請求について (5-8)</li> <li>▪ 特許権の維持について (27-11)</li> </ul>
<p>第10回 令和8年3月11日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 審査請求について (4-6)</li> <li>▪ 大学発スタートアップ認定について</li> </ul>

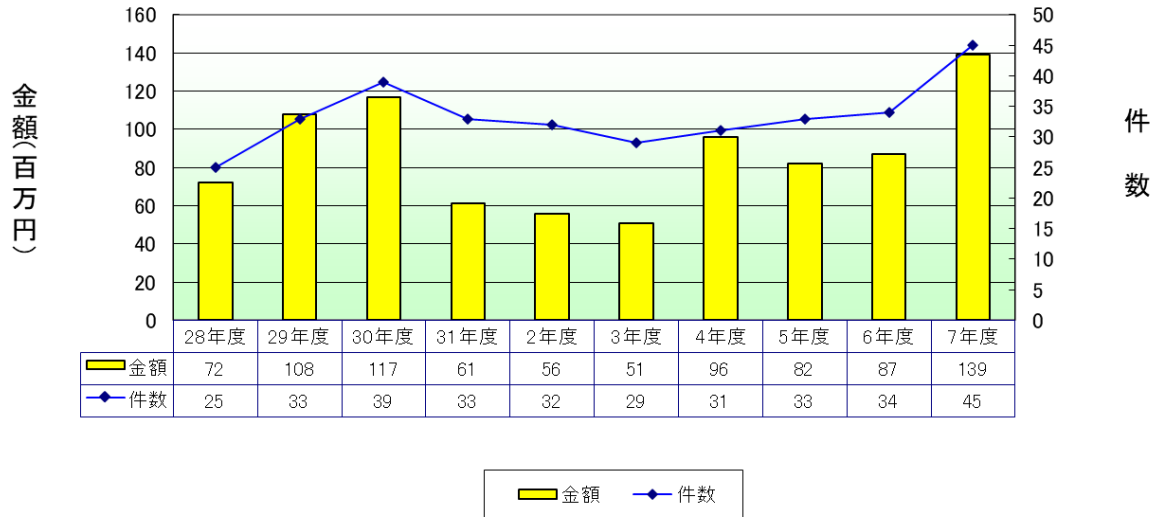
#### 4 共同利用設備ステーション会議

<p>第1回 令和7年6月26日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 令和7年度計画について</li> <li>▪ 今年度予算と執行予定について</li> <li>▪ 利用料金の改定について (令和7年度)</li> <li>▪ 外部評価の実施について</li> <li>▪ 共通機器を利用した研究成果に関する調査の実施について</li> </ul> <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 共通機器室利用申請書 (法人外) の許可書様式変更について</li> <li>▪ 共通機器室利用者登録について</li> <li>▪ 機器説明会等について</li> </ul>
<p>第2回 令和7年9月30日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 外部評価の実施について</li> <li>▪ 第4回共用機器利用促進セミナーの開催について</li> <li>▪ 利用料金の改定について (令和7年度)</li> <li>▪ 共通機器室アンケート実施について</li> <li>▪ 研究機器マップ更新について</li> <li>▪ 教員管理の共通機器登録について</li> </ul> <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 年度計画の進捗について</li> <li>▪ 第1四半期利用料収入と予算執行状況について</li> <li>▪ 共通機器室利用者登録について</li> <li>▪ 機器説明会等について</li> </ul>
<p>第3回 令和7年12月24日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ とかち財団との研究機器の相互利用に関する覚書について</li> <li>▪ 次年度の予算要求について</li> <li>▪ 教員管理の共通機器登録について</li> </ul> <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 年度計画の進捗について</li> <li>▪ 外部評価の実施について</li> </ul>

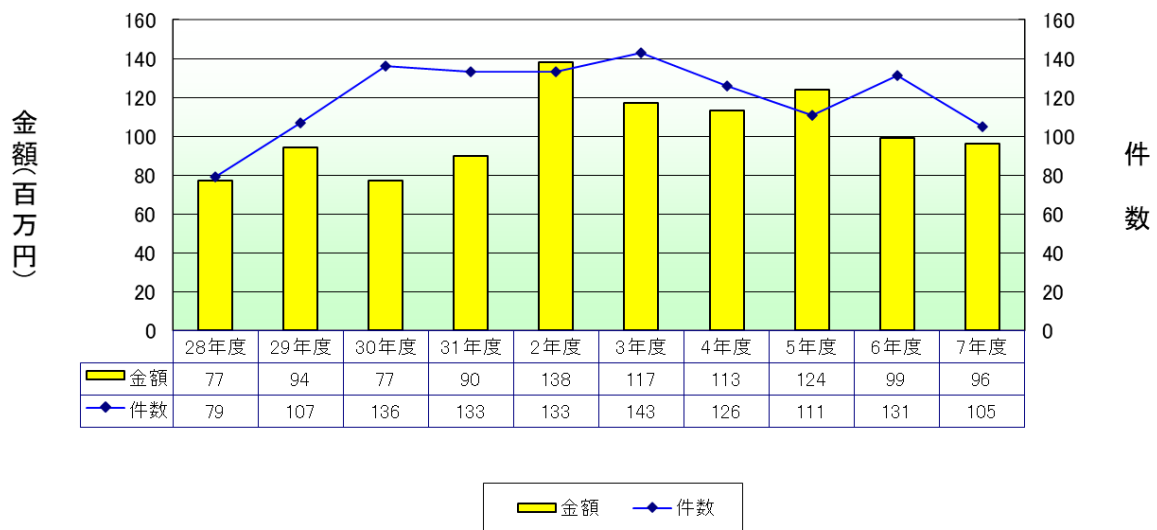
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 令和7年度機器分析センター協議会総会・シンポジウム・技術職員会議について</li> <li>▪ 共通機器室アンケート結果について</li> <li>▪ 第2四半期利用料収入と予算執行状況について</li> <li>▪ 共通機器室利用者登録について</li> <li>▪ 第4回共用機器利用促進セミナーについて</li> <li>▪ 機器説明会等について</li> <li>▪ 第2回研究設備・機器共用推進室会議について</li> </ul>
第4回（持ち回り） 令和8年1月16日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 次世代シーケンサーの今後の運用について</li> </ul>
第5回 令和8年3月27日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 令和7年度計画の実施結果及び令和8年度計画について</li> <li>▪ 教員管理の共通機器登録について</li> </ul> <p>[方針審議]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ポータルサイトの在り方について</li> </ul> <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ とかち財団との研究機器の相互利用に関する覚書について</li> <li>▪ 外部評価の実施結果について</li> <li>▪ 第3回研究設備・機器共用推進室会議（書面審議）について</li> <li>▪ 利用料収入及び予算執行状況等について</li> <li>▪ 共通機器室利用者登録について</li> <li>▪ 機器説明会について</li> <li>▪ 北見工業大学・共用設備センターの料金改定について</li> <li>▪ 共通機器室改善アクションプランについて</li> </ul>

# ■ 受託研究・共同研究受入実績の推移

## 受託研究



## 共同研究



# News Letter

Vol.17 2025.5.7



## イベント開催のお知らせ

### 産官学金連携交流会mini (第10回) を開催しました！

4月15日、産学連携センター内において、「未利用資源の活用編 Part3」をテーマに、産学官金連携交流会miniを開催しました。

- \* 当日の詳細は [こちら](#)
- \* 未利用資源コンソーシアムの取組みに参加を希望される方は [こちら](#)



講演の様子（写真は[西田武弘教授](#)）

(取組み事例紹介)

### 「農畜産運搬用トラックサポートシステム」の動画を公開しています！

- \* 技術開発に関するお問合せは [こちら](#)
- \* 紹介動画は [こちら](#)



取り組みの様子

### ※重要なお知らせ：帯広畜産大学を騙ったなりすましメールにご注意ください



帯広畜産大学のドメイン（～obihiro.ac.jp）を騙ったなりすましメールが確認されております。不審なメールを受け取った場合は、返信、メール本文中にあるリンクのクリックはしないよう、注意してください。また、添付ファイル等を開かず、速やかにメールを削除してください。不審なメールを受信した場合は、「[一般財団法人日本データ通信協会 迷惑メール相談センター](#)」にご相談ください。

発行：  
帯広畜産大学 産学連携センター



### プラットフォームの参画状況

参画機関数は 99社  
(会員人数 122名) です！

- 産 85 社
- 学 2 機関
- 官 8 機関
- 金 4 機関

\* プラットフォームHPは

[こちら](#)

## 公募・セミナー情報

- 「令和7年度 学生と地域がつながるまちづくり支援事業」を公募します。  
帯広畜産大学と帯広市が協力し、関係機関と連携しながら、本学の学生が在学中から卒業後まで、地域とのつながりを強化することを目的として実施しているものです。  
【日時など】公募：5月23日締切り | 研究費：1件あた40万円以内 | 採択件数：5件程度 | 申請資格者：教員の指導のもと、十勝管内の企業・団体等との共同研究を実施できる学部生または大学院生 | \*詳細は[こちら](#)

- 「デジタル農学基礎プログラム」開講式を開催しました。

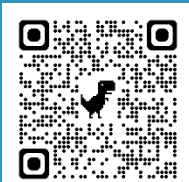


4月3日にデジタル農学基礎プログラムの開講式および初回講義「十勝型デジタル・スマート農学概論」を対面とオンライン配信によるハイブリッド形式で行いました。本プログラムは「十勝地区農業協同組合長会 デジタル農学寄附講座」の事業として、十勝地区農業協同組合長会と帯広畜産大学の共催により今年度から開始した教育プログラムです。

\*詳しくは、帯広畜産大学 [高度人材共創センター](#)のSNSからもご紹介しています。  
([Facebookページ](#) | [X](#) | [インスタ](#))

### お問い合わせ

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。



### 発行：

国立大学法人北海道国立大学機構  
帯広畜産大学 産学連携センター  
産学連携推進室

(担当：東・高橋・輿水)

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail : [crcenter@obihiro.ac.jp](mailto:crcenter@obihiro.ac.jp)

TEL : 0155-49-5771

## 畜大研究情報

### (受賞) 第94回日本寄生虫学会大会において「第72回小泉賞」を受賞

原虫病研究センター教授 西川 義文

西川義文教授が、3月18日(火)に開催された第94回日本寄生虫学会大会において、「第72回小泉賞」を受賞しました。 \*詳しくは[こちら](#)

### (感謝状) 農林水産省動物検疫所より感謝状が贈られました

原虫病研究センター教授 横山 直明

横山直明教授が、動物検疫所における馬ピロプラズマ症の診断において、診断用試薬作製の協力や技能試験の実施等により、診断能力が向上に繋がり、動物検疫所が行う海外からの悪性伝染病の侵入防止に多大な貢献をしたことから、感謝状が贈られたものです。 \*詳しくは[こちら](#)

# News Letter

Vol.18 2025.7.9



## イベント開催のお知らせ

### 「環境広場さっぽろ2025」に出展します！

7月26~27日、大和ハウス プレミストドーム（札幌ドーム）にて開催される「ゼロカーボン × 夏祭り！未来を創るエコアクションフェス」に出展します。

\* 当日の詳細は [こちら](#)

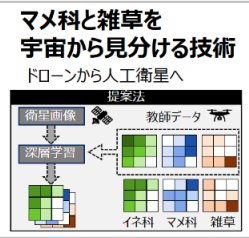


前回参加の様子

### 「大学見本市2025」に出展します！

8月21-22日、東京ビッグサイト（東京都）にて開催される「大学見本市2025～イノベーション・ジャパン」に出展し、環境農学研究部門 [川村健介准教授](#)の研究シーズを紹介します。

\* イベントの詳細は [こちら](#)



今回の報告イメージ

### 営農型太陽光発電の実証研究開始！

帯広畜産大学と北海道自然電力株式会社は、北海道十勝地域の農畜産業におけるカーボンニュートラルの実現及び持続的発展に貢献するため、令和6年8月20日付で連携協定を締結しました。この協定により設置された「北海道自然電力共同研究講座」の課題のひとつとして、本学の畜産フィールド科学センター圃場にて垂直式太陽光発電設備を活用した大規模な営農型太陽光発電（ソーラシェアリング）の実証研究を行う予定です。

\* 詳細は [こちら](#)



垂直式太陽光発電設備

（本学実習圃場でのパイロット試験より）

発行：

帯広畜産大学 産学連携センター



### プラットフォームの参画状況

参画機関数は 99社

（会員人数 122名）です！

産 85 社

学 2 機関

官 8 機関

金 4 機関

\* プラットフォームHPは

[こちら](#)

## 公募・セミナー情報

### ●フードバレーとかち人材育成事業

#### 特別講習「農業関連セミナー」について

帯広畜産大学と帯広市では、フードバレーとかち人材育成事業の取組みの一環として、広く一般市民を対象に特別講習「農業関連セミナー」を開催します。

【日時など】募集人員 各30名程度 | 無料 | \*詳細は[こちら](#)

講座①：7/23開催 総合的病害虫管理フィールドワーク (実習)

講座②：8/4開催 十勝の広さに挑む無人防除システムの開発について (座学)

講座③：8/19開催 十勝第5の作物の可能性について (座学)

講座④：8/26開催 地域未利用資源を用いた肉用牛の高付加価値化 (座学)

#### ドローン活用コース「農業ドローン活用セミナー」

多様な農業分野で即戦力として活躍できるドローン人材育成を目指します。

【日時など】9/10~12開催 | 定員10名 (有料・先着順) | \*詳細は[こちら](#)

### ●令和7年度「食品安全管理者育成プログラムについて

食品製造・加工に関わる方を対象に、衛生管理の導入・維持に必要な情報提供を行うことを目的としています。

【日時など】(第1回) HACCP構築3日間研修 9/1~3開催 | (第2回) 小規模事業者向け食品の一般衛生管理 9/1~12/31開催 \*詳細は[こちら](#)

### お問い合わせ

プラットフォームのみなさまからのリクエスト・ご相談・お問い合わせを受け付けています。お気軽にご相談ください。



### 発行：

国立大学法人北海道国立大学機構  
帯広畜産大学 産学連携センター  
産学連携推進室

(担当：東・高橋・興水)

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail: [crcenter@obihiro.ac.jp](mailto:crcenter@obihiro.ac.jp)

TEL : 0155-49-5771

## 畜大研究情報

### (受賞) 日本農業工学会フェローの称号を授与されました！

環境農学研究部門 教授 宗岡寿美

5月10日に、東京大学弥生キャンパスで開催された2025年度日本農業工学会フェロー・学会賞・新農林社賞・功績賞授賞式で、宗岡寿美教授(環境農学研究部門)がフェローの称号を授与されました。日本農業工学会は、10の学協会からなる連合組織であり、フェローの称号は農業工学分野の学問技術の発展に貢献し、多大な功績をあげられた研究者等を表彰して世に広く伝えるものです。 \*詳細は[こちら](#)

### (初公開) 日本で初めて顕微授精で誕生した仔馬の公開見学会を開催しました！

グローバルアグロメディシン研究センター 教授 南保泰雄

獣医学研究部門 准教授 羽田真悟

生命・食料科学研究部門 准教授 渡部浩之



6月18日に、本学にて、日本で初めて顕微授精で誕生した仔馬の公開見学会を開催しました。この仔馬は、南保泰雄教授、羽田真悟准教授、渡部浩之准教授の共同研究により、生体卵巣から吸引した馬卵子の体外成熟、顕微授精、体外培養胚の移植という一連の高度な生殖補助技術を駆使して誕生した、国内初の成功例です。

\*詳細は[こちら](#)

# News Letter

Vol.19 2025.9.24



## イベント情報

### 産学官金連携交流会を開催します！

～十勝における農産物の高付加価値化～

本学の研究開発活動の紹介と同時に教員との交流の場を設け、地域における産学官金連携活動を推進しています。今年度も皆様のご参加をお待ちしております。

【日付】令和7年9月29日（申込締切：9月24日）

【会場】本学講堂/オンライン配信 \*詳細は[こちら](#)



### スクラム十勝シンポジウム2025を開催します！

今回のシンポジウムでは、「農業の省力化とスマート技術」をテーマとして、スクラム十勝の関係機関における現在進行中の取り組みなどを紹介し、今後の研究の方向性や関係機関の連携に活かすとともに、十勝地域の発展に寄与することを目指します。

【日付】令和7年10月29日（申込締切：10月21日）

【会場】とかちプラザ2F 視聴覚室/オンライン配信 \*詳細は[こちら](#)

### 「大学見本市2025」に出展しました！

8月21～22日の2日間、日本最大級の産学連携イベント「大学見本市2025 イノベーション・ジャパン」が東京ビッグサイトで開催され、14,208名の来場者を迎えました。本学からは、環境農学研究部門の川村健介准教授が「マメ科と雑草を宇宙から見分ける技術」をテーマに出展しました。\*詳細は[こちら](#)



(会場の様子)

発行：

帯広畜産大学 産学連携センター



### プラットフォームの参画状況

参画機関数は 97社

(会員人数 118名) です！

産 84社

学 2機関

官 7機関

金 4機関

\*プラットフォームHPは

[こちら](#)

## 公募・セミナー情報

### ●食品安全管理者育成プログラム

食品製造・加工に関わる方を対象に、衛生管理の導入・維持に必要な情報提供を行うことを目的としています。（\*詳細は[こちら](#)）

#### 第3回 食品表示セミナー

【日時など】10月9日(木) [基礎]9:30~10:30 [応用]10:45~11:45 (無料)

【申込締切】9月30日(火)

#### 第4回 内部監査研修

【日時など】11月13~14日 (受講料:20,000円・先着10名)

【申込締切】10月10日(金)

### ●北海道国立大学機構 教育イノベーションセンター

#### 令和7年度 HACCP・食品安全管理プログラム「帯広セミナー」

本プログラムでは、企業の事例を基にHACCPの基礎を学ぶ内容となっています。

【日時など】10月20日(月) 13:30~16:30 (無料)

【申込締切】10月8日(水) (\*詳細は[こちら](#))

### ●ミルク&チーズコンソーシアム

#### チーズ製造学 第2回 短期研修会

乳業業界の第一線で活躍している技術者・研究者を講師に迎え、研修会を実施します。

【日時など】10月28~30日 (受講料:50,000円・先着10名)

【申込締切】9月30日(火) (\*詳細は[こちら](#))

[ミルク&チーズコンソーシアムのWebサイト] を開設しました。👉



### ●野生生物保全管理技術養成事業

#### ロードキル講習会

環境農学研究部門 浅利 裕伸 准教授を講師に、座学やシカの出没箇所・ロードキル発生環境等の視察を通じて効果的な対策のあり方について学びます。

【日時など】11月4日(火)13時~19時30分 (受講料:10,000円・先着20名)

【申込締切】10月3日(金) (\*詳細は[こちら](#))



## 畜大研究情報

### (論文発表) アルツハイマー病研究に新提言：小型哺乳類が「効率的かつ効果的なモデル動物」に — モルモット、コモンツパイ、デグーなどの可能性を再評価 —

グローバルアグロメディシン研究センター 准教授 茅野光範

グローバルアグロメディシン研究センターの茅野光範准教授は、アルツハイマー病研究におけるモデル動物の再検討を促す研究成果を発表しました。本論文は、令和7年8月14日に加齢神経科学に関する国際誌であるFrontiers in Aging Neuroscience誌に掲載されました。

\*詳しくは[プレス発表資料](#)をご覧ください。



### お問い合わせ

プラットフォームのみなさまからの  
リクエストや相談、お問い合わせを  
受付するフォームです。



### 発行：

国立大学法人北海道国立大学機構  
帯広畜産大学 産学連携センター  
産学連携推進室

(担当：東・高橋・興水)

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail : [crcenter@obihiro.ac.jp](mailto:crcenter@obihiro.ac.jp)

TEL : 0155-49-5771

# News Letter

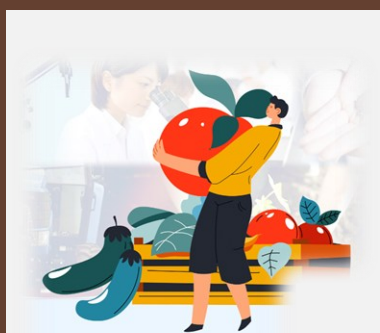
Vol.20 2025.11.4



## イベント情報

発行：

帯広畜産大学 産学連携センター



### プラットフォームの参画状況

参画機関数は 102社

(会員人数 123名) です！

産 88社

学 3機関

官 7機関

金 4機関

\*プラットフォームHPは

[こちら](#)

### 「ビジネスEXPO」に出展します！

11月に開催される「ビジネス EXPO」に北海道国立大学機構として今回も出展します。

【日付】11月6日(木)・7日(金)

【会場】アクセスサッポロ (札幌市)

\*詳細は[こちら](#)



(昨年度の出展ブースの様子)

### 産学官金連携交流会を開催しました！

9月29日(月)に、令和7年度 帯広畜産大学 産学官金連携交流会“大人のオープンキャンパス”を「十勝における農産物の高付加価値化」をテーマに開催しました。

第1部の研究室訪問には10名、第2部の講演会には計141名(会場91名とオンライン50名)の方にご参加いただきました。\*詳細は[こちら](#)



(敷島製パン(株)・山田氏による講演の様子)

### 「スクラム十勝」を開催しました！

10月29日(水)に、とかちプラザ(帯広市)において「スクラム十勝シンポジウム2025」を開催しました。「農業の省力化とスマート技術」をテーマに、計172名(会場77名とオンライン95名)の方にご参加いただきました。

\*開催概要は[こちら](#)



# 公募・セミナー情報

## ● (公募) 令和7年度 帯広畜産大学 地域共創ファンド

帯広畜産大学地域共創ファンドは、北海道の産業振興、道内企業等の課題解決や人材育成等のため、プラットフォーム参画機関と大学との連携による研究開発コンソーシアムの構築や、共同研究の推進について支援するものです。(共同研究加速型:最大60万円/件)

【申込締切】11月21日(金) (\*詳細は[こちら](#))

## ● 農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム (11月の部分開講)

### 経営改善に役立つ労務管理 (全2回)

【日時など】第1回11月19日(水)、第2回11月26日(水)、全て18:00~20:00 (受講料:16,000円)

【申込締切】11月5日(水) (\*詳細は[こちら](#))

## ● 北海道国立大学機構 教育イノベーションセンター

### HACCP・食品安全管理プログラム「札幌セミナー」

本プログラムでは、企業の事例を基にHACCPの基礎を学ぶ内容となっています。

【日時など】12月2日(火) 13:30~16:00 (無料 | 会場+オンラインほか)

【申込締切】11月14日(金) (\*詳細は[こちら](#))

## ● フードバレーとかち人材育成事業

特別講習「農業関連セミナー第3弾」

### 講座①: HACCP導入・管理でのハード面への活用事例

### 講座②: 6次産業化の展開と持続可能な農業経営

【日時など】①12月5日(金) 18:00~19:30 (無料)

②12月18日(木) 18:00~19:30 (無料)

【申込締切】11月21日(金) (\*詳細は[こちら](#))

## ● ミルク&チーズコンソーシアム

### チーズ製造のための乳酸菌講習会

乳酸菌に関する知識や基礎的な取り扱いについて理解を深めることを目的とし、チーズ製造のための乳酸菌講習会を実施します。

【日時など】12月9日(火)~10日(水) (受講料:20,000円・先着10名)

【申込締切】11月7日(金) (\*詳細は[こちら](#))

## お問い合わせ

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。



## 発行:

国立大学法人北海道国立大学機構  
帯広畜産大学 産学連携センター  
産学連携推進室

(担当: 東・高橋・興水)

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail: [crcenter@obihiro.ac.jp](mailto:crcenter@obihiro.ac.jp)

TEL : 0155-49-5771

# 畜大研究情報

## (論文発表) AI技術でウマの採食行動を高精度に判別

### — 顎下に装着した加速度センサーと深層学習モデルを活用 —

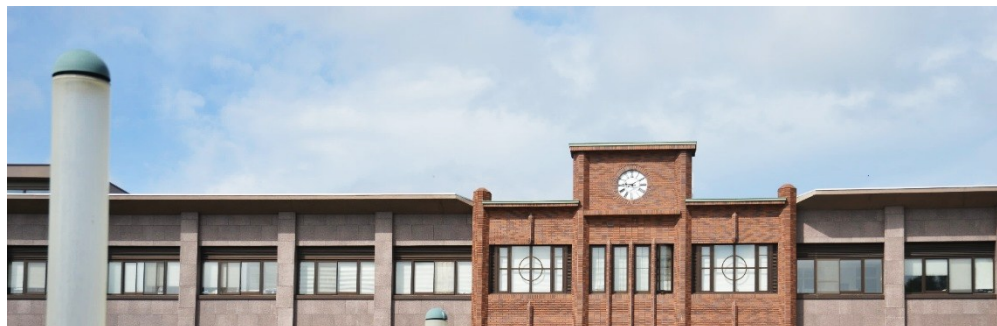
環境農学研究部門 准教授 川村健介

帯広畜産大学神谷 詩 (在籍時: 畜産学部)、垣内香澄 (大学院畜産学研究科)、川村健介 准教授 (環境農学研究部門) らの研究グループは、北海道大学大学院農学研究院および JRA日高育成牧場生産育成研究室との共同研究として、深層学習技術を用いて放牧地で採食するウマの行動を高精度に自動分類する方法を開発しました。

\* 詳しくは [プレス発表資料](#) をご覧ください。

# News Letter

Vol.21 2026.1.16



## イベント情報

### 「農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム」の 第4期開講が決まりました！

本学が実施している「農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム」では、農畜産経営の実践的な学びと業種を超えた交流を通じて世界の農畜産業のトップランナーを目指す人材を対象に開催しています。第4期は令和8年9月から約半年間にわたり開講いたします。次年度のプログラム受講についてご検討ください。

【募集予定】2026年6月（受講料:10万円 | 対面およびオンデマンド）

[実践力基礎コース]と[実践力強化コース] | \*詳細は[こちら](#)

### 「第11回 産学官金連携交流会mini」を開催しました！

12月5日（金）に、農産物の未利用資源をテーマにした専門家による講演を開催し、地域で発生する未利用農水産資源の把握・データベース化、評価、加工技術開発を通じた利活用促進の取り組みが紹介されました。会場とオンラインを含め、約60名の方にご参加いただきました。\*詳細は[こちら](#)



（岡田センター長による開催挨拶の様子）

### 「ビジネスEXPO」に出展しました！

11月6日・7日に、北海道最大級の産業・技術交流イベント「ビジネスEXPO 第39回 北海道 技術・ビジネス交流会」に出展しました。多くの来場者が訪れ、北海道国立大学機構ACEと本学の研究を広く発信できた2日間となりました。\*詳細は[こちら](#)



（出展ブースでの研究紹介の様子）

発行：  
帯広畜産大学 産学連携センター



### プラットフォームの参画状況

参画機関数は 110社

（会員数 131名）です！

産 96 社

学 3 機関

官 7 機関

金 4 機関

\*プラットフォームHPは

[こちら](#)

# 公募・セミナー情報

## ● 令和7年度 帯広畜産大学 地域共創ファンド

令和7年度の採択結果2件を公表しました。（\*詳細は[こちら](#)）

## ● 農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム（2月の部分開講）

### 「農業経営に活かす農業政策」

【日時など】2月9日(月) 18:00～20:00（受講料:8,000円 | 学内会場にて）

【申込締切】1月23日(金)（\*詳細は[こちら](#)）

### 「ミニプロ」(オンデマンド動画の視聴による短期プログラム)

農業経営の基礎知識を学んでいただくことを目的に、オンデマンド動画の視聴による短期プログラム（通称「ミニプロ」）を開講いたします。

【日時など】受講期間は3月31日(火)迄（受講料:40,000円 | オンデマンド動画視聴）

【申込締切】1月30日(金)（\*詳細は[こちら](#)）

## ● フードバレーとちか人材育成事業

### 特別講習「ビジネスシーンでのRESASの活用」

RESAS（地域経済分析システム）の活用方法を学び、地域の現状・実態を把握することで、データを活用した事業戦略作成の考え方を習得することを目的とします。

【日時など】2月6日(金) 14:00～16:00（無料 | 学内会場にて | 最大50名）

【申込締切】1月30日(金)（\*詳細は[こちら](#)）

### 特別講習「AIとDXセミナー」

AIに関する基礎的理解を深めながら、農畜産分野におけるAIの導入効果や現状どのように活用されているかを事例を通して解説した上で、AIを活用した課題解決方法をグループワークを通して学びます。

【日時など】2月16日(月) 14:00～17:00（無料 | 学内会場にて | 40名程度）

【申込締切】2月6日(金)（\*詳細は[こちら](#)）

## ● 人間科学研究部門

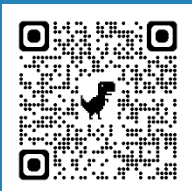
### 「第20回研究紹介セミナー（マーシャル・スミス先生）」

【日時など】1月26日(月) 12:10～12:40（無料 | 学内会場にて）

【申込締切】申込不要（\*詳細は[こちら](#)）

## お問い合わせ

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。



## 発行：

国立大学法人北海道国立大学機構  
帯広畜産大学 産学連携センター  
産学連携推進室

（担当：東・高橋・興水）

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail : [crcenter@obihiro.ac.jp](mailto:crcenter@obihiro.ac.jp)

TEL : 0155-49-5771

# 畜大研究情報

## （受賞）第30回「野生生物と社会」学会大会において受賞しました！

環境農学研究部門 准教授 浅利裕伸  
名誉教授 柳川 久

浅利裕伸准教授（環境農学研究部門）が、第30回「野生生物と社会」学会大会において、学会賞を受賞しました。この賞は、野生生物と人間社会との関係に関する研究分野において、学術のおよび社会的に顕著な貢献を果たした研究者に授与されるものです。なお、同大会では、柳川久名誉教授が「学会功労賞」を受賞しました。

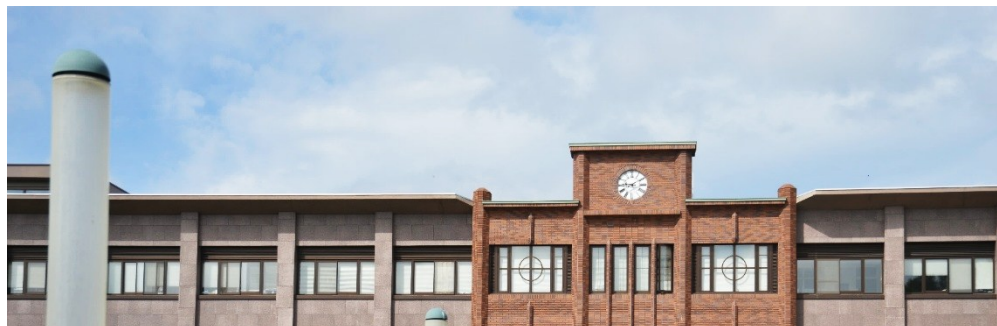
\*詳しくは[大学ニュース](#)をご覧ください。



国立大学法人北海道国立大学機構  
帯広畜産大学  
帯広畜産大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

# News Letter

Vol.22 2026.3.4



## イベント情報

### 「カルビーポテト(株)との共同研究成果発表会」を開催します！

帯広畜産大学とカルビーポテト株式会社は、バレイショ栽培において持続的に高品質かつ高収量を実現するための土壌改良および施肥技術の確立と、生産現場への技術普及を目的とした共同研究を実施してまいりました。このたび、本年度に得られた研究成果について広く紹介するため、成果報告会を開催いたします。

帯広畜産大学・カルビーポテト株式会社 共同研究成果発表会

#### 持続的な加工用バレイショ 栽培における土壌改良と 適正施肥に係る研究と技術普及

バレイショ栽培において、持続的に高品質かつ高収量を達成できる土壌改良や施肥技術について、生産現場への技術普及を目指す

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine & Calbee Potato Inc.

【日時など】3月25日(水) 14:00~17:00 (入場無料・事前申込不要 | 学内講堂にて)

\* 今回の開催案内は [こちら](#)

### 令和7年度 最終講義をご案内します！

#### 「草資源からの家畜生産の重要性と課題

#### Importance and challenges of ruminant production from grasses」


生命・食料科学研究部門 花田 正明 教授

令和7年度をもって本学を退職される花田先生の最終講義をご案内いたします。

【日時など】3月5日(木) 13:30~14:35 (無料 | 対面およびオンライン)

\* 参加方法の詳細は [こちら](#)

対面は事前申込不要です。オンライン聴講希望の方は [メール宛先](#)まで必要事項を添えてお申込みください。

(令和7年度の研究シーズ集でも  先生のご研究をご覧ください)

発行：  
帯広畜産大学 産学連携センター



#### プラットフォームの参画状況

参画機関数は 115社  
(会員数 137名) です。

産 100社

学 3 機関

官 8 機関

金 4 機関

\* プラットフォームHPは

[こちら](#)



# 公募・セミナー情報

## ● 高度人材共創センター

### 「令和8年度デジタル農学基礎プログラム」

デジタル技術を活用したスマート農業の研究と人材を通じて、地域農業の発展と持続可能性向上を目的に令和7年度に設定された「十勝地区農業協同組合長会 デジタル農学寄附講座」の一環として、十勝地区農業協同組合長会と帯広畜産大学の共催による「デジタル農学基礎プログラム」第2期を令和8年度4月より開講いたします。

【日時など】 令和8年4月14日(火)～令和9年2月16日(火)

(受講料:50,000円 | 対面およびオンライン)

【募集対象】 十勝管内のJA組合員や職員・行政および指導研究機関 (定員45名程度)

【申込締切】 令和8年3月16日(月) (\*詳細は[こちら](#))

# 産学連携・施設利用情報

## ● 産学連携センター

打ち合わせや会議を開催できるマルチルーム、ラウンジ等を備えた産学連携活動のための施設です。

【申請方法】 [産学連携センター利用許可申請書\(様式\)](#) をご利用ください。\*詳細は[こちら](#)

### ○ 共同利用設備ステーション

全学的な研究設備・機器の共用促進と整備等のマネジメントを行い、学内外の利用を促進しています。

【申請方法】 「[共通機器利用申請\(法人外\)](#)」 をご利用ください。\*詳細は[こちら](#)

## ● 帯広畜産大学附属図書館

学外利用者の方も資料閲覧・貸出が可能です。

【申請方法】 「[帯広畜産大学附属図書館利用申請書](#)」 をご利用ください。\*詳細は[こちら](#)

## ● 原虫病研究センター

文部科学省より「原虫病制圧に向けた国際的共同研究拠点」として認定された共同利用・共同研究拠点です。

【申請方法】 [原虫病研究センター利用届\(様式\)](#) をご利用ください。\*詳細は[こちら](#)

## ● 動物・食品検査診断センター

食品衛生検査指針微生物編2018に記載された標準寒天培地を用いた混釈法に従った「一般生菌数検査」の受託を行っています。

【お問合せ方法】 検査のご相談やお申し込みは、Emailにてお受けしています。\*詳細は[こちら](#)

## お問い合わせ

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。



## 発行:

国立大学法人北海道国立大学機構  
帯広畜産大学 産学連携センター  
産学連携推進室

(担当: 東・高橋・興水)

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail: [crcenter@obihiro.ac.jp](mailto:crcenter@obihiro.ac.jp)

TEL : 0155-49-5771

